東福保育園　　5歳児　　さくら組

年間テーマ

探求テーマ　　いろいろな形の木に触れて色を塗る

２０２５年　9月　30日（火）

子どもの姿	・自分の作りたい色を作って塗ることを楽しんでいる。
「問い」を考える	・いろいろな形の木片を使ってどんなものが作れるか想像して塗るか
活動をデザインする	・様々な形の木片や、絵の具を用意する。 ・自分の好きな形の木片を選べるようにしておく。
環境をデザインする	・絵の具で塗る前に、友だちと様々な木片を使って、積んでみたり組み立てたりして楽しむ時間も設定していく。 ・様々な色の絵の具を用意しておく。
小グループを構成する	・自分の思いを友だちや保育士に伝えられるようにする ・様々なことに対して興味を持っている子と一緒に楽しめるようにグループを構成していく。
振り返り	・木片を塗って楽しむ前に、十分に積んだり組み立てたりする時間を作ったことで、想像してから塗ることができた。また、想像したことを友だち同士で共有して一つの物を一緒に作りあげようとする姿が見られた。また、音によって色を分けていたことや単純に「ドレミ」ではない音を作ろうよするところも感慨深かった。次回は、実際に塗った物をもう一度組み立てて楽しめればと思う。

子どもの言葉・姿	写真
・A・Bが最初に薄い板状の木を使って木琴が作れないか試行錯誤する。 ・A「ここの音を変えてみる？」 ・隣の板状の木を一段高くしてみる。 ・B「この方が、音が鳴るね」 何枚も横に並べて、木琴の棒を使って音を鳴らして楽しむ。 ～絵の具を塗って楽しむ～ ・（先ほど楽しんだ板状の木を持ってきて）A「これは、ドの音」 ・（音を鳴らして）B「この木は何かな？」 ・A「それは、紫にしよ」と言うとBは頷き紫を塗る。 ・A「この音は”ドゥ”だね」 ・C「えー、ドじゃないの？」 ・A「ドはもうあるんだもん」 ・保育士「どんな音を作るの？ドレミ？」 ・A「そうゆう音じゃなくて、合奏するからいろんな音を作るの」 ・B「ここは何色でもいい？」 ・A「何色でもいいよ」 ・（Aの話を聞いて）B「じゃあ、ここも紫でぬるね」 ・（Cは木琴を高くする部分の木を持ってくる）C「木琴の下の部分の大きくなるところ作ってる。」（ピンクと紫を塗る） ・保育士「なんでその色にしたの？」 C「かわいくしたいから」（といい、ピンクと紫を塗る） ・絵の具で色を塗るのを楽しむ。 AとBが実際に木琴の棒を使って木をたたいて「次はこれにしよう」と音別に色を分けて塗る。 全部の色の木琴の鍵盤を塗り終わる。 A「乾いたら、また並べてやってみよう」 次回に続く。	